

除草剤を活用した夏場のネギの省力的除草管理

管理機で畝間に入れず、雑草の勢いも強くなる夏場には、下記の除草剤をネギの株元ギリギリまで畝間に散布し、省力的な除草管理を行いましょう。

リニュロン水和剤（ロックス）・・・広葉に強い土壌処理剤

+

トリフルラリン乳剤（トレファノサイド乳剤）・・・イネ科に強い土壌処理剤

+

グリホサートイソプロピルアミン塩液剤（カレター、草枯らしMIC）非選択性茎葉処理剤

既に生えてる雑草は「カレター」が枯らし、後から生えてくる広葉雑草・イネ科雑草は「ロックス」、「トレファノサイド乳剤」が防ぎます。

〈使用方法〉梅雨明け後のネギの畝間に100L/10aを散布する（ラウンドバブル@25～100人力用1頭口を使用）。薬量はロックス（100g/10a）、トレファノサイド乳剤（250ml/10a）、カレター（300ml/10a）。

〈注意点〉

単位面積当たりの薬量は厳守、薬量が多いと薬害が出ます。また、同じ箇所への2度掛けも薬害の原因になります。非選択性のカレターは、ネギにかかると薬害を生じますが、株元の雑草を狙って散布した時にネギにかかったとしても、少量ならネギへの薬害は軽度ですむ。

除草剤混用散布の効果



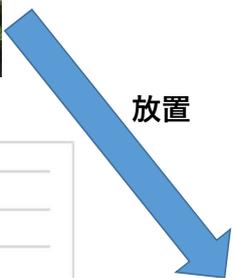
除草剤処理前の様子

散布

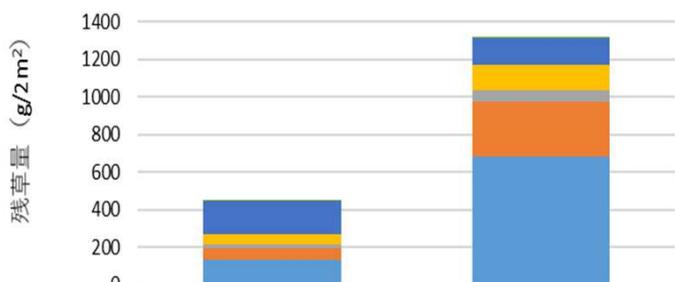


除草剤を散布した約1か月後の様子

放置



放置した約1か月後の様子



除草剤処理1か月後の残草量